

自分ごと化会議

私に関係ある？ ある！



◆みらい戦略課企画振興係 (☎ 27-1250)

南陽市自分ごと化会議は、無作為抽出した市民の中から参加希望者を募り、行政課題について市民が中心となって話し合い、自分ごととして捉えていただく取組です。12月6日(土)に行われた第3回の会議には11人が参加。南陽市の現状を再確認し、ごみの排出量を抑えるために市全体でできること、個人でできることなどを話し合いながら、全3回の自分ごと化会議を振り返りました。

自分ごと化会議 協議テーマ「学んで得するゴミ問題」

第3回 全体協議 ▷前回出た意見の振り返り▷改善提案シートの記入▷今回の会議に参加しての感想

南陽市の現状

- △家庭系ごみ排出量が置賜地域で最も多い。
- △分別すべきごみも可燃ごみとして捨てている。
- △おもてなし料理やいただき物等の廃棄処分が多い。

(※) 可燃ごみは千代田クリーンセンター（高畠）で焼却処分され、灰は浅川最終処分場（米沢）で埋め立てられますが、現在の利用計画では令和17年で処分場がいっぱいになる予定です。さらに新たな処分場の建設には40億円以上の費用が試算されています。

令和5年度 家庭系1人1日あたりのごみ排出量(単位g)

全国	475	山形県	512
米沢市	477	長井市	471
南陽市	515	高畠町	447
川西町	460	白鷹町	455
飯豊町	433	小国町	496

・P17の「南陽市地球温暖化対策実行計画推進コラム」もご覧ください。

＼委員の皆さんの感想を紹介します／

様々な年代の方と意見交換することができてよかったです。

得することを考えるのが難しかった。ごみの問題を多くの人に知らせることが課題だと感じた。

3回の会議を通して、ごみのことが頭から離れなくなった。

ごみを捨てる前に分別方法などを調べるようになった。

南陽市のごみの現状を知ることができた。ごみを減らす努力をしたい。

会議で学んだことを家族や友達に話したい。

会議に参加して分別するべきと分かった。分別しないのは楽だけど、後になってツケが回ってくるというのは新たな視点だった。

最終処分場を新たに建設するとなると莫大な費用がかかると知り、衝撃的だった。(※)



全会議の資料および議事概要は市HPに掲載されています▶

